

(個人)

(報告 田 中)

大朝日岳 (標高1, 870m) —朝日連峰—

【日 時】 24年8月19日 (日)

【メンバー】 田 中

(計1名)

【行動記録】

① 太宮 (18日23時27分) —②  
古寺鉢泉P (19日4時57分)  
⇒古寺山 (7時30分) ⇒小朝日  
岳 (8時15分) ⇒大朝日岳 (1  
0時14分—10時32分) ⇒古  
寺山 (12時50分) ⇒P (14時56分) ⇒③古寺鉢泉 (20日7時30分)  
一月山IC—太宮

上り 4時間5.1分 下り 3時間5.5分

【装備・食料等】 《個人》 携帯電話、ヘッドランプ、雨具、コンパス、地図、救急  
薬、昼食、水、行動食、ツェルト

【感想】

古寺鉢泉の駐車場に着くと、既に20台以上の車が止まっていた。40分位仮眠  
を取って、明るくなってから出発する。この日泊まる古寺鉢泉の左側から裏手を回  
ると登山口がある。古寺山に着くと、小朝日岳から大朝日岳に連なる山々が一望で  
きた。このコースには水場が三ヶ所あるが、どこも冷たくおいしい。小朝日岳から  
の展望も素晴らしい。小朝日からの下りは急で、やがて上りに入ると稜線に出る。  
ここからは、風も心地よく周囲の山が遠望できる。花は既に秋のものに変わってき  
ているが、山頂に近づくにつれて、ニッコウキスゲなど夏の花が残っていた。大朝  
日岳山頂は、ややガスが出始めてきたが、近くの山はよく見えた。上りで脹脛に張  
りを感じていたので、下りはゆっくりめで降りる。そのため、天気予報が的中し、  
最後の2、30分で雨に会う。樹林帯の中だったので、初めは影響なかったが、そ  
のうち大粒の雨が落ちてきて、雨具をつけることになった。この日は古寺鉢泉に泊  
まったが、泊り客のほとんどが明日登る人たちだった。山菜を主として食事は、評  
判どおりおいしかった。

概略図

大朝日岳

↑ ↓

小朝日岳

↑ ↓

古寺山

↑ ↓

古寺鉢泉